

2024 年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会 技術部

2024 年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2025 年 7 月 7 日（月）に Zoom を用いた Web 会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者 16 名、委託関係者 19 名ほか、計 47 名の参集を得て、除草剤 2 薬剤（2 点）、生育

調節剤 2 薬剤（6 点）について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果については、次の表に示す通りである。

2024 年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験 判定結果

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AK-01 液 グリホサートイソプロピ ルアミン塩:41% [TAC普及会]	タマネギ	生育期の一年生雑草を対象としたタ マネギ生育期での茎葉処理(畦間)に よる適用性の検討(東北以南, 3年目)	実・継	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・耕起7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・茎葉処理(全面) ・250~500mL<散布水量25~50L>/10a (専用ノズルを使用する) [秋冬作; 一年生雑草] ・タマネギ生育期, 雑草生育期 ・茎葉処理(畦間) ・250~500mL<散布水量25~100L>/10a (25~50Lでは専用ノズル使用) 注) ・雑草の草丈20cm以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する 継) ・耕起直前処理での薬害の確認 ・定植前処理での薬害について

B. 2024 年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. トリフルラリン 乳 トリフルラリン:44.5% [日産化学]	ブロッコ リー (直播)	ブロッコリー(直播)の播種直後処理 での土壌処理(全面)による適用性の 検討(東北以南:2年目)	実・継	実) [春夏作, 露地; 一年生雑草(ツユクサ科, カヤツリ グサ科, キク科, アブラナ科を除く)] ・播種直後, 雑草発生前 ・200~300mL<散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) 継) ・効果・薬害の年次変動の確認

C. 2024 年度 春夏作分 野菜関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. S-327D 液 ウニコナゾールP:0.025% [住友化学]	ブロッコ リー	ブロッコリーにおける播種後出芽前 の土壌灌注による育苗期の伸長抑制 効果の検討。(適用性2年目)	継	継) ・効果・薬害の確認
	ブロッコ リー	ブロッコリーにおける定植前の茎葉 散布による育苗期の伸長抑制効果の 検討。(適用性2年目)		

D. 2024 年度 春夏作分 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 フルルプリミドール:50.0% [ニチナー緑化]	イロハ モミジ	イロハモミジにおける新梢伸長始期での樹幹注入処理による新梢伸長抑制効果の検討(作用性)	— 前 回 通 り	(作用性)
	シラカシ	シラカシにおける新梢伸長始期での樹幹注入処理による新梢伸長抑制効果の検討(作用性)	— 前 回 通 り	(作用性)
	ヤマザクラ	ヤマザクラにおける新梢伸長始期での樹幹注入処理による新梢伸長抑制効果の検討(作用性)	— 前 回 通 り	(作用性)
2. SL-950 乳 ニコスルフロン:4.0% [石原産業, 石原バイオサイエンス]	ツツジ・ サツキ	ツツジ類に対して、樹冠上から散布した場合の葉害確認	継	継) ・効果・葉害の確認
	ツツジ・ サツキ	サツキに対して、樹冠上から散布した場合の葉害確認		

E. 2023 年度 春夏作分 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. SL-950 乳 ニコスルフロン:4.0% [石原産業, 石原バイオサイエンス]	ツバキ・ サザンカ	ヤブツバキに対して、樹冠上から散布した場合の葉害確認	継	継) ・効果・葉害の確認
	ドウダン ツツジ	ドウダンツツジに対して、樹冠上から散布した場合の葉害確認	継	継) ・効果・葉害の確認